



— 人みな師なり — のコーナー

杉浦さんと現場へ出かけると、必ず『へ～ボタン』が欲しくなります。

車でどこを通っていてもその土地の由来だとか、この辺にA社の元重役が住んでいて、ヨーロッパの美術品をいっぱい倉庫に隠しとるとか、この辺の水道はあの川の水を浄化しとるから飲まんほうがいいとか、あの辺りは昔遊郭でよく遊んでもらったとか、あの家はあかんぞお、昔お堀だったところに建てとらさせるもん、とか、この前あの土手に消防団が土嚢袋300個も積み込んだで、とか、「へええ～」とうなるような話の宝庫なのです。単なる地名や風景も杉浦さんのいたずらっぽい味付けによって忘れることのできない場所になってしまいます。

先日われわれは皆さんの多大なるご協力により、無事サイパン旅行に行くことができました。サイパンからフェリーで1時間のところにテニアン島という島があり、そこには豪華なカジノがあります。われわれもそこで夢のような楽しい時間を過ごしたのですが、実はその島は第2次世界大戦中、アメリカ軍がB-29を出撃させるために使用していた島だったのです。驚きが『20ヘエ』を超えるとともに、われわれの祖父の世代の悲しみの上に自分たちの今の幸せがあることを改めて認識し、感謝する社員旅行となりました。

どんなささいな事や風景にも、必ず歴史やあまり知られていない物語が秘められていて、それらに触れることによってわれわれの『いそがしい、味気ない、ひとりよがりな』感情が刺激され、味わい深い時間がすごせるのだと思います。

今月の私の師は杉浦さん、あなたです。

これからも、地図を見てロールプレイングのように現場に最短、最速で直行して仕事をしようとする若手に、いとおかく味わい深い世界が身近にいっぱいあることを教えてやってください。

『リラックスして周りがよく見える』これは確か安全の第一条件だったと思いますので...

感謝。

【羽原 篤史】

